

## 高金利先進国債券オープン（毎月分配型） ＜愛称 月桂樹＞

### 運用報告書（全体版）

第160期（決算日 2017年2月10日）第162期（決算日 2017年4月10日）第164期（決算日 2017年6月12日）  
第161期（決算日 2017年3月10日）第163期（決算日 2017年5月10日）第165期（決算日 2017年7月10日）

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。  
「高金利先進国債券オープン（毎月分配型）」は、2017年7月10日に第165期の決算を行ないましたので、第160期から第165期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

#### 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2003年8月5日から原則無期限です。
運用方針	主として、ソブリン債（国債、州政府債、政府保証債、政府機関債、国際機関債などをいいます。）や社債などを主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「高利回り先進国債券ファンド クラスA」受益証券 「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

<940380>

## 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
http://www.nikkoam.com/

#### 当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	標準価額			債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落 中 率				
	円		円		%	%	百万円	
136期(2015年2月10日)	7,722		70		△0.6	91.8	—	454,354
137期(2015年3月10日)	7,683		70		0.4	92.0	—	461,501
138期(2015年4月10日)	7,724		55		1.2	95.2	—	477,121
139期(2015年5月11日)	7,573		55		△1.2	95.7	—	466,767
140期(2015年6月10日)	7,599		55		1.1	97.9	—	470,524
141期(2015年7月10日)	7,317		55		△3.0	96.5	—	456,482
142期(2015年8月10日)	7,431		55		2.3	96.9	—	464,691
143期(2015年9月10日)	6,999		55		△5.1	94.7	—	439,827
144期(2015年10月13日)	7,100		55		2.2	93.9	—	446,878
145期(2015年11月10日)	7,043		55		△0.0	97.5	—	443,184
146期(2015年12月10日)	7,025		55		0.5	97.2	—	438,390
147期(2016年1月12日)	6,645		55		△4.6	97.7	—	414,662
148期(2016年2月10日)	6,567		55		△0.3	95.5	—	406,486
149期(2016年3月10日)	6,472		55		△0.6	96.2	—	397,213
150期(2016年4月11日)	6,245		55		△2.7	98.2	—	380,258
151期(2016年5月10日)	6,175		55		△0.2	95.9	—	372,086
152期(2016年6月10日)	6,159		55		0.6	97.7	—	363,764
153期(2016年7月11日)	5,797		55		△5.0	93.2	—	333,391
154期(2016年8月10日)	5,805		55		1.1	97.2	—	327,074
155期(2016年9月12日)	5,781		55		0.5	97.9	—	319,341
156期(2016年10月11日)	5,763		40		0.4	97.1	—	313,166
157期(2016年11月10日)	5,783		40		1.0	96.9	—	297,153
158期(2016年12月12日)	6,040		40		5.1	96.6	—	298,978
159期(2017年1月10日)	6,009		40		0.1	97.3	—	289,264
160期(2017年2月10日)	5,960		40		△0.1	87.9	10.1	279,572
161期(2017年3月10日)	5,842		40		△1.3	86.6	10.4	268,311
162期(2017年4月10日)	5,686		40		△2.0	—	98.9	256,222
163期(2017年5月10日)	5,764		40		2.1	—	98.9	254,672
164期(2017年6月12日)	5,727		40		0.1	—	98.9	246,560
165期(2017年7月10日)	5,836		40		2.6	—	98.3	245,581

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしているため、適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組 入 比	投 資 信 託 組 入 比	信 託 券 率
			騰 落	率			
第160期	(期 首) 2017年1月10日	円 6,009		% —	% 97.3		% —
	1月末	5,984		△0.4	97.2		0.0
	(期 末) 2017年2月10日	6,000		△0.1	87.9		10.1
第161期	(期 首) 2017年2月10日	5,960		—	87.9		10.1
	2月末	5,905		△0.9	86.7		10.3
	(期 末) 2017年3月10日	5,882		△1.3	86.6		10.4
第162期	(期 首) 2017年3月10日	5,842		—	86.6		10.4
	3月末	5,773		△1.2	—		98.9
	(期 末) 2017年4月10日	5,726		△2.0	—		98.9
第163期	(期 首) 2017年4月10日	5,686		—	—		98.9
	4月末	5,688		0.0	—		98.9
	(期 末) 2017年5月10日	5,804		2.1	—		98.9
第164期	(期 首) 2017年5月10日	5,764		—	—		98.9
	5月末	5,749		△0.3	—		98.8
	(期 末) 2017年6月12日	5,767		0.1	—		98.9
第165期	(期 首) 2017年6月12日	5,727		—	—		98.9
	6月末	5,856		2.3	—		98.9
	(期 末) 2017年7月10日	5,876		2.6	—		98.3

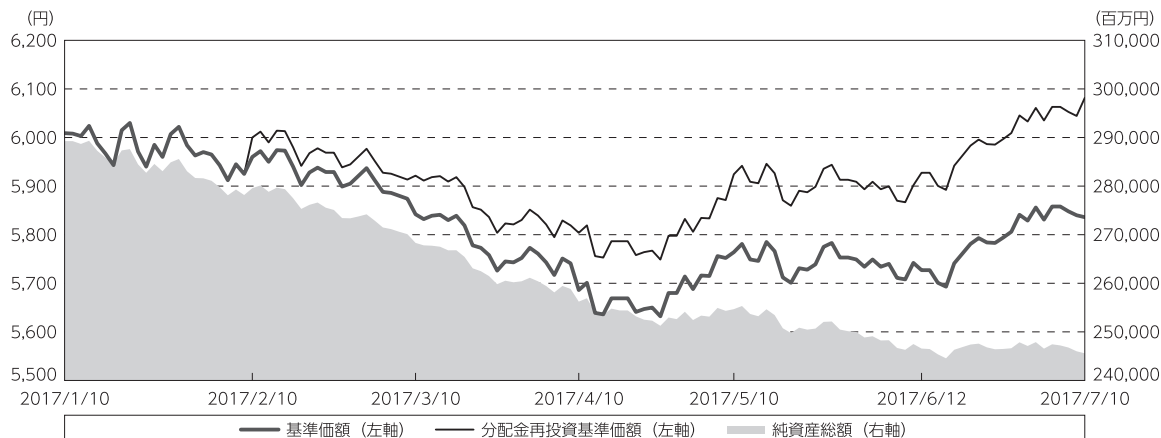
(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

## ○運用経過

（2017年1月11日～2017年7月10日）

## 作成期間中の基準価額等の推移



第160期首：6,009円

第165期末：5,836円（既払分配金（税込み）：240円）

騰落率：1.2%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりしますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2017年1月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## ○基準価額の変動要因

当ファンドは、世界の主要先進国の債券に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保および信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の変動要因は、以下の通りです。

## ＜値上がり要因＞

- ・保有債券からインカム収入を得たこと。
- ・一部の投資対象国の国債利回りが期間の初めと比べて低下（債券価格は上昇）したこと。
- ・投資対象国の通貨が対円で上昇したこと（オーストラリアドル、ニュージーランドドル、カナダドル、ノルウェークローネ）。

## ＜値下がり要因＞

- ・一部の投資対象国の国債利回りが期間の初めと比べて上昇（債券価格は下落）したこと。
- ・投資対象国の通貨が対円で下落したこと（アメリカドル）。

## 投資環境

## （債券市況）

期間の初めから2017年3月前半にかけては、米国新政権発足後の政策運営への不透明感が強まったことが利回りの低下要因となったものの、欧州域内でインフレ圧力が増しつつある兆候が見られたことや、米国で3月の利上げ観測が高まったことなどを受けて、投資対象国の10年国債利回りは総じて上昇しました。3月後半から6月にかけては、フランス大統領選挙の結果を受けて欧州連合（EU）の混乱が回避されるとの期待が高まったことなどから、投資家のリスク回避姿勢が弱まった一方、米国で3月の利上げ決定後に今後の利上げペースの加速が示唆されなかったことや、シリアや北朝鮮情勢の緊迫化や米国政権とロシアとの不透明な関係への疑惑から米国政治の停滞が懸念されたことなどを背景に投資家の安全資産への逃避需要が強まり、各国の10年国債利回りは総じて低下しました。期間末にかけては、欧州、イギリス、カナダの中央銀行の金融緩和姿勢が後退したことなどを背景に、各国の10年国債利回りは上昇しました。

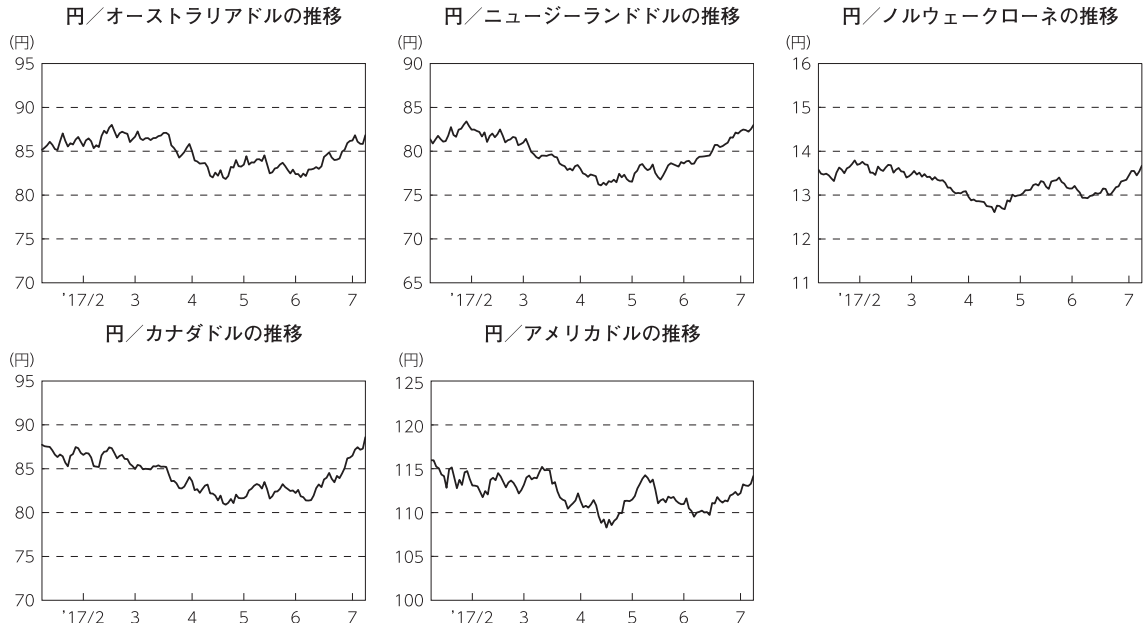
## （国内短期金利市況）

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの $-0.04\%$ 近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、 $-0.05\%$ 近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの $-0.35\%$ 近辺から、日銀による国債買入れの継続や追加の金融緩和観測などを受けてマイナス圏での推移が続き、 $-0.09\%$ 近辺で期間末を迎えました。

## （為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。



## 当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

2016年12月の約款変更に伴ない、「高金利先進国債券マザーファンド」受益証券から「高利回り先進国債券ファンド クラスA」円建受益証券への入替えを順次行ないました。「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券への投資は抑制しました。

（高金利先進国債券マザーファンド）

（高利回り先進国債券ファンド クラスA）

期間中、投資対象国（通貨ベース）の入替えは行ないませんでした。通貨の相対パフォーマンスの変化を捉えて国別配分の調整を行ない、ノルウェーの組入比率を引き下げた一方、アメリカの組入比率を引き上げました。

ポートフォリオ全体のデュレーション（金利感応度）に留意しながら国ごとのデュレーションを調整し、ファンドのリターンを最大化に努めました。総じて、アメリカのデュレーションを短めとし、他の投資対象国のデュレーションをやや長めとすることをめざしました。

（マネー・オープン・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 分配金

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第160期	第161期	第162期	第163期	第164期	第165期
	2017年1月11日～ 2017年2月10日	2017年2月11日～ 2017年3月10日	2017年3月11日～ 2017年4月10日	2017年4月11日～ 2017年5月10日	2017年5月11日～ 2017年6月12日	2017年6月13日～ 2017年7月10日
当期分配金	40	40	40	40	40	40
（対基準価額比率）	0.667%	0.680%	0.699%	0.689%	0.694%	0.681%
当期の収益	14	12	40	40	40	40
当期の収益以外	25	27	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	237	210	213	217	217	221

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入して算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

## （当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「高利回り先進国債券ファンド クラスA」円建受益証券を高位に組み入れ、「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

## （高利回り先進国債券ファンド クラスA）

原則として、各国の金利水準、信用力、財政状況などのファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）を考慮して投資を行なう方針です。債券市況、為替市況、各国のファンダメンタルズなどの変化にあわせて、投資比率並びに投資対象国（通貨ベース）およびポートフォリオのデュレーションの変更などを柔軟に検討する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

## （マネー・オープン・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ○1万口当たりの費用明細

(2017年1月11日～2017年7月10日)

項 目	第160期～第165期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 24	% 0.411	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	( 4 )	(0.071)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	(19)	(0.321)	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
( 受 託 会 社 )	( 1 )	(0.019)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.003	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	24	0.414	
作成期間の平均基準価額は、5,825円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

## ○売買及び取引の状況

(2017年1月11日～2017年7月10日)

## 投資信託証券

銘 柄		第160期～第165期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	高利回り先進国債券ファンド クラスA	千口 272,931,347	千円 259,856,145	千口 21,962,371	千円 20,789,065

(注) 金額は受け渡し代金。



## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第160期～第165期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
高金利先進国債券マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 129,453,076	千円 279,023,168
マネー・オープン・マザーファンド	0.567	0.576	4,318	4,394

## ○利害関係人との取引状況等

(2017年1月11日～2017年7月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2017年1月11日～2017年7月10日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2017年1月11日～2017年7月10日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2017年7月10日現在)

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	第159期末	第165期末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千口	千円	%
高利回り先進国債券ファンド クラスA	—	250,968,976	241,507,445	98.3
合 計	—	250,968,976	241,507,445	98.3

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

## 親投資信託残高

銘 柄	第159期末	第165期末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
高金利先進国債券マザーファンド	129,453,076	—	—
マネー・オープン・マザーファンド	28,261	23,944	24,360

(注) 親投資信託の2017年7月10日現在の受益権総口数は、以下の通りです。

・マネー・オープン・マザーファンド 204,718千口

## ○投資信託財産の構成

(2017年7月10日現在)

項 目	第165期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	241,507,445	97.3
マネー・オープン・マザーファンド	24,360	0.0
コール・ローン等、その他	6,638,716	2.7
投資信託財産総額	248,170,521	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第160期末	第161期末	第162期末	第163期末	第164期末	第165期末
	2017年2月10日現在	2017年3月10日現在	2017年4月10日現在	2017年5月10日現在	2017年6月12日現在	2017年7月10日現在
	円	円	円	円	円	円
<b>(A) 資産</b>	282,109,162,427	270,864,623,785	260,215,253,563	257,270,290,108	249,068,273,743	248,170,521,727
コール・ローン等	3,085,790,842	2,966,304,775	6,716,012,936	5,279,117,638	4,647,344,983	6,638,715,272
投資信託受益証券(評価額)	28,294,975,080	27,781,935,907	253,473,258,871	251,878,938,620	243,855,629,674	241,507,445,804
高金利先進国債券マザーファンド(評価額)	248,630,528,686	237,949,457,551	—	—	—	—
マネー・オープン・マザーファンド(評価額)	28,169,668	28,166,899	25,713,987	25,124,569	24,415,452	24,360,651
未収入金	2,069,698,151	2,138,758,653	267,769	87,109,281	540,883,634	—
<b>(B) 負債</b>	2,536,844,110	2,553,536,681	3,992,955,850	2,597,981,839	2,507,861,506	2,588,618,523
未払金	—	—	1,684,937,879	—	—	—
未払収益分配金	1,876,456,939	1,837,244,667	1,802,538,279	1,767,212,109	1,722,199,141	1,683,095,188
未払解約金	459,154,959	539,856,474	318,955,975	656,818,441	596,491,251	747,544,312
未払信託報酬	199,954,412	175,315,019	185,333,317	172,841,649	187,964,414	156,967,644
未払利息	2,061	1,987	7,945	6,884	7,458	9,903
その他未払費用	1,275,739	1,118,534	1,182,455	1,102,756	1,199,242	1,001,476
<b>(C) 純資産総額(A－B)</b>	279,572,318,317	268,311,087,104	256,222,297,713	254,672,308,269	246,560,412,237	245,581,903,204
元本	469,114,234,780	459,311,166,864	450,634,569,862	441,803,027,309	430,549,785,416	420,773,797,112
次期繰越損益金	△189,541,916,463	△191,000,079,760	△194,412,272,149	△187,130,719,040	△183,989,373,179	△175,191,893,908
<b>(D) 受益権総口数</b>	469,114,234,780口	459,311,166,864口	450,634,569,862口	441,803,027,309口	430,549,785,416口	420,773,797,112口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,960円	5,842円	5,686円	5,764円	5,727円	5,836円

(注) 当ファンドの第160期首元本額は481,386,371,078円、第160～165期中追加設定元本額は6,177,173,729円、第160～165期中一部解約元本額は66,789,747,695円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第160期0.5960円、第161期0.5842円、第162期0.5686円、第163期0.5764円、第164期0.5727円、第165期0.5836円です。

(注) 2017年7月10日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は175,191,893,908円です。

## ○損益の状況

項 目	第160期	第161期	第162期	第163期	第164期	第165期
	2017年1月11日～ 2017年2月10日	2017年2月11日～ 2017年3月10日	2017年3月11日～ 2017年4月10日	2017年4月11日～ 2017年5月10日	2017年5月11日～ 2017年6月12日	2017年6月13日～ 2017年7月10日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	215,983,064	215,937,773	2,026,914,473	1,984,600,960	1,937,636,917	1,893,553,523
受取配当金	216,086,415	216,009,264	2,027,020,964	1,984,746,532	1,937,792,474	1,893,689,655
受取利息	610	-	-	-	-	-
支払利息	△ 103,961	△ 71,491	△ 106,491	△ 145,572	△ 155,557	△ 136,132
(B) 有価証券売買損益	△ 452,908,053	△ 3,618,902,165	△ 7,054,518,374	3,428,275,136	△ 1,649,886,348	4,562,753,171
売買益	46,628,201	39,343,667	30,613,550	3,452,050,928	37,610,599	4,631,756,980
売買損	△ 499,536,254	△ 3,658,245,832	△ 7,085,131,924	△ 23,775,792	△ 1,687,496,947	△ 69,003,809
(C) 信託報酬等	△ 201,230,151	△ 176,433,553	△ 186,515,772	△ 173,944,405	△ 189,163,656	△ 157,969,120
(D) 当期繰越損益金 (A+B+C)	△ 438,155,140	△ 3,579,397,945	△ 5,214,119,673	5,238,931,691	98,586,913	6,298,337,574
(E) 前期繰越損益金	△ 36,440,194,526	△ 36,687,689,496	△ 39,999,236,069	△ 46,004,603,822	△ 41,359,102,456	△ 41,912,915,066
(F) 追加信託差損益金	△150,787,109,858	△148,895,747,652	△147,396,378,128	△144,597,834,800	△141,006,658,495	△137,894,221,228
(配当等相当額)	( 12,355,321,814)	( 10,927,437,897)	( 9,494,915,828)	( 9,309,426,045)	( 9,073,421,509)	( 8,868,318,547)
(売買損益相当額)	(△163,142,431,672)	(△159,823,185,549)	(△156,891,293,956)	(△153,907,260,845)	(△150,080,080,004)	(△146,762,539,775)
(G) 計 (D+E+F)	△187,665,459,524	△189,162,835,093	△192,609,733,870	△185,363,506,931	△182,267,174,038	△173,508,798,720
(H) 収益分配金	△ 1,876,456,939	△ 1,837,244,667	△ 1,802,538,279	△ 1,767,212,109	△ 1,722,199,141	△ 1,683,095,188
次期繰越損益金 (G+H)	△189,541,916,463	△191,000,079,760	△194,412,272,149	△187,130,719,040	△183,989,373,179	△175,191,893,908
追加信託差損益金	△151,982,412,929	△150,145,992,648	△147,396,378,128	△144,597,834,800	△141,006,658,495	△137,894,221,228
(配当等相当額)	( 11,160,649,976)	( 9,677,611,503)	( 9,495,007,030)	( 9,309,426,045)	( 9,073,421,509)	( 8,868,318,547)
(売買損益相当額)	(△163,143,062,905)	(△159,823,604,151)	(△156,891,385,158)	(△153,907,260,845)	(△150,080,080,004)	(△146,762,539,775)
分配準備積立金	158,909	237,341	135,639,937	286,342,073	304,712,893	461,253,885
繰越損益金	△ 37,559,662,443	△ 40,854,324,453	△ 47,151,533,958	△ 42,819,226,313	△ 43,287,427,577	△ 37,758,926,565

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2017年1月11日～2017年7月10日の期間に当ファンドが負担した費用は137,316,374円です。

(注) 分配金の計算過程(2017年1月11日～2017年7月10日)は以下の通りです。

項 目	2017年1月11日～ 2017年2月10日	2017年2月11日～ 2017年3月10日	2017年3月11日～ 2017年4月10日	2017年4月11日～ 2017年5月10日	2017年5月11日～ 2017年6月12日	2017年6月13日～ 2017年7月10日
a. 配当等収益(経費控除後)	681,041,509円	587,081,794円	1,937,945,841円	1,920,831,797円	1,748,472,158円	1,847,220,200円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越大損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	12,355,953,047円	10,927,856,499円	9,495,007,030円	9,309,426,045円	9,073,421,509円	8,868,318,547円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	271,268円	155,218円	232,375円	132,722,385円	278,439,876円	297,128,873円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	13,037,265,824円	11,515,093,511円	11,433,185,246円	11,362,980,227円	11,100,333,543円	11,012,667,620円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	277円	250円	253円	257円	257円	261円
g. 分配金	1,876,456,939円	1,837,244,667円	1,802,538,279円	1,767,212,109円	1,722,199,141円	1,683,095,188円
h. 分配金(1万円当たり)	40円	40円	40円	40円	40円	40円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

## ○分配金のお知らせ

	第160期	第161期	第162期	第163期	第164期	第165期
1 万口当たり分配金（税込み）	40円	40円	40円	40円	40円	40円

## ○お知らせ

### 約款変更について

2017年1月11日から2017年7月10日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、投資対象とする投資信託証券から証券投資信託「高金利先進国債券マザーファンド」を削除すべく、2017年4月11日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。これに伴ない、当該マザーファンドの運用指図権限の委託に係る費用に関する記載もあわせて削除いたしました。（第43条、付表）

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	高利回り先進国債券ファンド クラスA	
	ケイマン籍円建外国投資信託	
運用の基本方針		
基本方針	利子収入などを中心とする安定的な収益の獲得を目指します。	
主な投資対象	世界のソブリン債（国債、地方政府債、政府機関債、政府保証債、国際機関債をいいます。）や社債、コマーシャル・ペーパーなどを主要投資対象とします。	
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済協力開発機構（OECD）加盟国の中から信用力が高く、金利水準が相対的に高い国の公社債に投資を行ないます。</li> <li>・ 投資対象通貨は、必要に応じて適宜見直します。</li> <li>・ 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行ないません。</li> </ul>	
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 株式への投資は行ないません。</li> <li>・ 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</li> </ul>	
収益分配	原則として、毎月5日（休日の場合は翌営業日）に分配を行ないます。なお、管理会社の判断により収益分配を行なわないことがあります。	
ファンドに係る費用		
信託報酬など	純資産総額に対し年率0.50% （国内における消費税等相当額はかかりません。）	
申込手数料	ありません。	
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、約款変更関連費用、監査費用、信託財産に関する租税など。	
その他		
投資顧問会社	日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッド	
管理会社	日興AMグローバル・ケイマン・リミテッド	
信託期間	2163年3月26日まで	
決算日	原則として、毎年12月末日	

# マナー・オープン・マザーファンド

## 運用報告書

第14期（決算日 2017年1月16日）  
（2016年1月16日～2017年1月16日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2003年3月28日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。

## ファンド概要

わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして安定運用を行ないます。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率			
10期(2013年1月15日)	円	10,165	0.1	79.0	771	百万円
11期(2014年1月15日)		10,173	0.1	79.3	895	
12期(2015年1月15日)		10,177	0.0	80.1	674	
13期(2016年1月15日)		10,179	0.0	71.0	295	
14期(2017年1月16日)		10,176	△0.0	—	229	

(注) 元本の安全性を優先した運用を行なっているため、ベンチマークおよび適切な参考指数となる指標はございません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率
		騰 落	率		
(期 首) 2016年1月15日	円	10,179	—	71.0	%
1月末		10,179	0.0	65.3	
2月末		10,179	0.0	70.8	
3月末		10,179	0.0	67.9	
4月末		10,179	0.0	—	
5月末		10,179	0.0	—	
6月末		10,178	△0.0	—	
7月末		10,178	△0.0	—	
8月末		10,178	△0.0	—	
9月末		10,177	△0.0	—	
10月末		10,177	△0.0	—	
11月末		10,177	△0.0	—	
12月末		10,176	△0.0	—	
(期 末) 2017年1月16日		10,176	△0.0	—	

(注) 騰落率は期首比です。

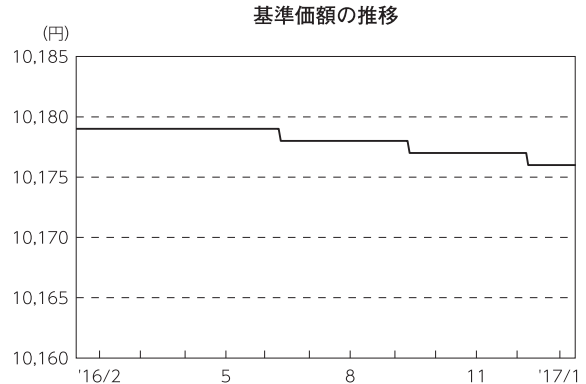


## ○運用経過

(2016年1月16日～2017年1月16日)

## 基準価額の推移

期間の初め10,179円の基準価額は、期間末に10,176円となり、騰落率は△0.0%となりました。



期首	期中高値	期中安値	期末
2016/01/15	2016/01/18	2016/12/08	2017/01/16
10,179円	10,179円	10,176円	10,176円

## 基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・利息収入などを得たこと。

## &lt;値下がり要因&gt;

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

## (国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めから2016年2月前半までは、概ね0.05～0.09%の範囲で安定的に推移しました。2月後半以降は、日銀によるマイナス金利の導入開始などを受けて低下し、-0.05%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.02%近辺から、日銀による国債買入れの継続や追加の金融緩和観測などを受けて低下が進み、-0.27%近辺で期間末を迎えました。

## ポートフォリオ

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

### ○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

### ○1万口当たりの費用明細

(2016年1月16日～2017年1月16日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 ( そ の 他 )	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,178円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

### ○売買及び取引の状況

(2016年1月16日～2017年1月16日)

#### 公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 20,000	千円 - (230,000)

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ( )内は償還による減少分です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2016年1月16日～2017年1月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2016年1月16日～2017年1月16日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ○組入資産の明細

(2017年1月16日現在)

2017年1月16日現在、有価証券等の組入れはございません。

## ○投資信託財産の構成

(2017年1月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 232,599	% 100.0
投資信託財産総額	232,599	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年1月16日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	232,599,077
コール・ローン等	232,599,077
(B) 負債	2,882,614
未払解約金	2,882,342
未払利息	272
(C) 純資産総額(A-B)	229,716,463
元本	225,742,901
次期繰越損益金	3,973,562
(D) 受益権総口数	225,742,901口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,176円

(注) 当ファンドの期首元本額は290,685,921円、期中追加設定元本額は80,936,434円、期中一部解約元本額は145,879,454円です。

(注) 2017年1月16日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(トルコリアコース)	60,896,443円
・資源ファンド(株式と通貨)ブラジルレアル・コース	31,095,811円
・高金利先進国債券オープン(毎月分配型)	28,261,930円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(米ドルコース)	25,589,846円
・世界銀行債券ファンド(毎月分配型)	25,035,796円
・日興・GS 世界ソブリン・ファンド(毎月分配型)	13,334,216円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(ブラジルレアルコース)	10,055,587円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(円ヘッジコース)	7,850,838円
・資源ファンド(株式と通貨)南アフリカランド・コース	6,269,553円
・日興・アッシュモア・グローイング・マルチストラテジー・ファンド	4,499,590円
・資源ファンド(株式と通貨)オーストラリアドル・コース	2,972,898円
・日興・GS 世界ソブリン・ファンドVA(適格機関投資家販売制限付)	2,493,023円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(南アフリカランドコース)	1,796,630円
・高金利先進国債券オープン(資産成長型)	1,476,769円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(メキシココース)	1,435,666円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド資産成長型(米ドルコース)	699,977円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(インドルピーコース)	598,683円
・資源ファンド(株式と通貨)米ドル・コース	405,200円
・上場インデックスファンド中国A株(ハンダ)CSI300	198,295円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(米ドル・ブラジルレアルコース)	190,152円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(米ドル・アジア通貨バスケットコース)	116,559円
・高金利通貨コレクション	101,847円
・資源ファンド(株式と通貨)円コース	83,121円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(インドネシアルピアコース)	66,761円
・資源ファンド(株式と通貨)トルコリラ・コース	60,143円
・資源ファンド(株式と通貨)米ドル・コース(資産成長型)	57,728円
・資源ファンド(株式と通貨)メキシコペソ・コース	39,353円
・資源ファンド(株式と通貨)ブラジルレアル・コース(資産成長型)	22,687円
・上場インデックスファンド海外債券(Citi WGBI)毎月分配型	19,740円
・資源ファンド(株式と通貨)南アフリカランド・コース(資産成長型)	18,059円

(注) 1口当たり純資産額は1,0176円です。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

## ○損益の状況 (2016年1月16日～2017年1月16日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 72,079
受取利息	4,498
支払利息	△ 76,577
(B) 有価証券売買損益	111
売買益	111
(C) 保管費用等	△ 719
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 72,687
(E) 前期繰越損益金	5,210,835
(F) 追加信託差損益金	1,435,858
(G) 解約差損益金	△2,600,444
(H) 計(D+E+F+G)	3,973,562
次期繰越損益金(H)	3,973,562

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

---

### 約款変更について

2016年1月16日から2017年1月16日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。